

## 体験学習会 ②「大和川源流探訪 ～布留川流域で学ぼう～」

日時 2013年11月17日(日) 10:00～16:00

場所 天理市内布留川流域(市街地のホテル生息地、桃尾の滝)および仁興川上流域(木の子村)

この企画は、大和川市民ネットワーク(事務局:大阪府堺市内)が主催する「大和川源流探訪」事業で、手作り工房「木の子村」とNPO法人環境市民ネットワーク天理が共催して実施した協働事業である。

当日は小雨模様だったが、予定どおり実行した。「パックテスト COD」は最も簡易な水質測定器で、天理ダム上流域の「天理ダム風致公園」でおこなったパックテストでは、参加者はCOD値による色彩が異なることに驚いたりしていた。また桃尾の滝では、「マイナスイオン」のシャワーを浴びながら水と親しんでいた。竹細工の体験でも楽しそうにはしゃいでいた。以下に実施内容を記す。

- ▶参加者:約50名(参加費は500円)
- ▶服装・持ち物:水に濡れても良い服装、雨具、筆記用具
- ▶昼食:おにぎり、おはし、お碗、水筒(環境市民ネットワーク天理が昼食時に豚汁の用意)
- ▶遊び体験:工作(竹細工、竹製水鉄砲、竹下駄など)、スイカ割り



「大和川源流探訪 ～布留川流域で学ぼう～」当日のコース。「Google マップ」を利用。



「大和川源流探訪 ～布留川流域で学ぼう～」に参加人たち。



主催者あいさつ（左）と昼食時の豚汁準備のようす（中）、そして参加者による感想発表（右）。



布留川源流部の観察（左）と間伐材を利用したシイタケの樽木（中）、  
そして植樹された場所に立てられた「バイオマスの森」の看板を見ながら説明を受ける参加者たち（右）。



市街地の写真で、天理教教会本部前の黒門前の歩道橋から親里大路のイチョウ並木に見入る参加者（左）と  
ホタルが周辺を舞う丹波市小学校前の布留川で説明を受ける参加者（中）、  
そして初冬の布留川南流でホタル幼虫の活動を観察する参加者（右）。当日、ゲンジボタルの幼虫が餌のカワニナを食べている姿を観察。